

令和2年7月 17日

会員各位

三多摩美術家連盟

代表 山中眞寿子

令和2年 第44回展中止のお知らせ

皆さま、このところのコロナ禍の中、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。
さて、今秋、10月3日から開催予定の第44回展ですが、現在の新型コロナの状況では、開催は到底無理と判断致し、まことに残念ながら中止することに致しました。

これまで、3月の常任委員会では、秋までには凡そ終息するであろうとの希望的観測から、実施を視野に入れての協議を致しましたが、その後は、5月の政府からの緊急事態宣言を受けて6月に緊急の会議、さらに7月の常任委員会と協議を重ねてまいりました。

多くの会員、あるいは出品予定者の皆さまから開催を期待する声も聴かれましたが、7月に入ってから、東京で200人を超える感染者などを考慮すると、感染のリスクを負っての開催にどの程度の意味があるのか、会員とともに、見に来て下さる方々への配慮はどうなのか、クラスターなどが発生した場合にどのような責任が取れるのか、などの議論がなされた結果、苦渋の決断ではありました。

従って、定時総会でご承認いただいた今年度の事業計画についても、必然的に全面的な見直しを余儀なくされますが、現状では今後の予定すら立てられないのが実情ですので、いったんは白紙と致します。

何らかの予測が成り立った際(ある程度コロナの状況にめどが立った際)に、改めて常任委員会などを招集し、諸々の予定を再構築することと致しますのでご了承下さい。

なお、第44回展は令和3年の秋に開催予定と致します。期間その他は全くの未定です。それまでの期間を自己研鑽の場ととらえ、ご自身の作品を見つめ直す良い機会と、前向きに考えていただければ幸いです。

また、皆様と無事再会できる日を楽しみにしております。

くれぐれもご自愛のほどをお願い申し上げます。